

新春を迎えて

函館市長 工藤 壽樹



新年明けましておめでとう
ございます。

平成27年の新春を皆様と
もにお迎えできますことを心
からお喜び申し上げます。

昨年は、青函ツインシティ
提携25周年、東部4地域との
合併10周年という記念の年を
迎えたほか、水産・海洋に関
する学術研究の中核施設とな
る「国際水産・海洋総合研究
センター」が6月にオープン
し、12月には、北海道新幹線
の車両が試験走行を始めるな
ど、新たな時代の幕開けを実
感する年でありました。

今年、5千人規模のコン
ベンションに対応できる「函
館アリーナ」のほか、大規模
な大会や合宿にも対応できる
「函館フットボールパーク」
が8月のオープンを予定して

おり、「函館アリーナ」のオー
プンに際しては、GLAYの
コンサートが決定し、全国か
ら訪れるファンでまちにさら
なる活気と賑わいが生まれる
ことを期待しております。

また、中心市街地活性化事
業も本格化してきており、旧
和光ビルや旧グルメシティ五
稜郭ビルの建替も進められて
いるほか、それぞれのビル内
に市が整備する、家族連れや
観光客が楽しめる「はこだて
おもしろ館」や「子育て世代
活動支援プラザ」、若者や起
業家が集う「市民交流プラザ」
の準備も進めており、今後は、
函館駅前通の電線類の地中化、
グリーンプラザの整備など、
市民や観光客が歩いて楽しい、
美しい街並みを整備すること
としております。

さらに来年3月には、待望
の北海道新幹線が開業を迎え
ます。さまざまなイベントに
よる気運醸成のほか、開業効
果を最大限生かすため、北関
東や東北地方さらには東南ア
ジア各国でのプロモーション
の実施により、交流人口を増

やす取り組みを展開するとと
もに、函館・青森・弘前・八
戸の4市が連携し、多彩な青
函圏の魅力をさらに磨き上
げ、新たな観光圏として全国
に発信してまいります。

函館市は、昨年行われた民
間の調査会社による調査で、
魅力度全国第1位に輝きまし
たが、これからも「歴史」「景
観・街並み」「食」をはじめ
とした数多くの資源を磨き上
げるとともに、新たな資源を
発掘し、「点の観光」から「線
の観光」、「面の観光」へと発
展させていきたいと考えてお
ります。

このほか、「市民の安全・
安心」に関する取組みとして、
子どもからお年寄りまで、障
がいの有無に関わらず、誰も
がいきいきと希望をもつて暮
らせる「福祉コミュニティエ
リア」の整備に向け検討を進
めているほか、道南18市町に
よる定住自立圏の事業とし



函館駅前のイルミネーション

て、2月からドクターヘリの
運航が始まります。

また、大間原子力発電所に
ついては、市民の生命や財産
を守り、函館市という自治体
を将来の世代に引き継いでい
くためにも、引き続き司法の
場において、建設の差し止め
を強く訴えてまいります。

今日、全国的に少子高齢化
による人口減少時代に入り、
本市の人口は、このまま何も
対策を講じなければ、平成52
年には約17万5千人にまで減
少すると推計されており、人
口減少抑制対策は喫緊の課題
となっております。幸い、市
の財政は行財政改革の成果で
再建に向かい、各種施策の推
進が可能になりつつありま
す。雇用環境の改善や子ども
を生み育てやすい環境づくり
のほか、医療、教育、保健、
福祉など各分野にわたって、
これまで以上に積極的に取り
組んでいく必要があります。

今後とも、市民の皆様と力
を合わせ、函館のまちづくり
を加速させてまいりますの
で、ご理解とご協力をお願い
申し上げます。

新しい年が市民の皆様にと
りまして喜びと幸せに満ちあ
ふれた年となりますことを心
からお祈り申し上げます、新年の
ご挨拶といたします。

HP
新春
函館市長
ごあいさつ
(テレビ・ラジオ番組)

◆函館市民ニュース
(STVテレビ)

1月4日(日)
午前11時20分～11時25分

◆市民の時間
(HBCラジオ)

1月1日(木)
午前11時45分～11時50分

1月2日(金)
午後2時10分～2時15分

◆市政だより
(FMいるか)

1月1日(木)・2日(金)
午後3時～3時5分

お問合せ 広報広聴課
☎21・3631

函館市消防出初式

日時 1月6日(火) 午前10時から
会場 函館市民会館
内容 車両観閲、はしご乗り等演技など
※ 函館アリーナ新築工事に伴い、
駐車場内で実施します。
お問合せ 消防本部庶務課 ☎22-2142